

ホームページや県政直行便に届いた、県民の皆さんの疑問・質問を紹介していきます。県民の皆さんからの声をお待ちしています!!



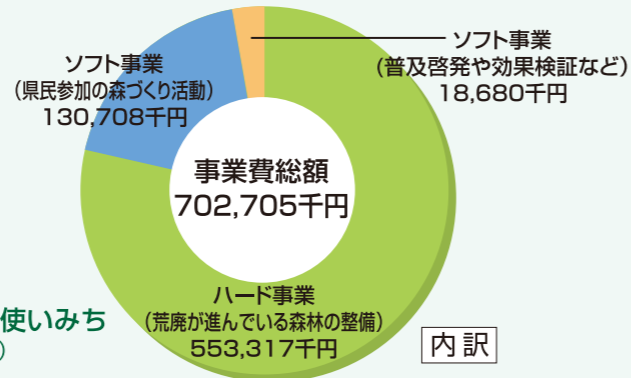
やまがた緑環境税の使いみちについて教えてください。



やまがた緑環境税は、平成19年度から次の額を県民の皆さんからいただいています。

個人:年間1,000円(個人県民税を納めている方)
法人:資本金などの金額により年間2,000円~80,000円(法人県民税均等割額の10%相当額)

やまがた緑環境税を活用した事業は、手入れがされずに荒廃が進んでいる森林の整備を行うハード事業と、県民参加の森づくりを進める活動などのソフト事業の2本の柱により実施しています。



やまがた緑環境税の使いみち (平成22年度実績見込み)

内訳

ハード事業について

平成19年度から平成23年度までの5年間で、荒廃が進む森林のうち5,800haの整備を目標としており、平成22年度末までに8割を超える約4,800haの荒廃森林が解消される見込みです。



手入れがされず暗い森林 光が差し込み、よみがえった森林

ソフト事業について

緑環境税の導入から平成22年度末までの4年間で、森づくりに参加する県民の方は27万人となることが見込まれ、県民参加の森づくりの輪が着実に広がっています。また、平成22年度からは、県民が気軽に森づくりに参加したり、企業の森づくりに参加する「やまがた絆の森プロジェクト」を実施しています。



やまがた森の感謝祭 (絆の森スタート宣言) やまがた絆の森 (企業による森づくり) やまがた絆の森 (県民の皆さんによる森づくり)

より詳しい内容についてはホームページをご覧ください。 [県ホームページ](#) ▶ [くらし・環境・社会基盤](#) ▶ [環境・リサイクル](#) ▶ [地球温暖化](#) ▶ [やまがた緑環境税](#)

問い合わせ みどり自然課 ☎023-630-2209



地域の旬だより

okitama information



フォーラムの様子(平成22年12月12日 米沢市「伝国の杜」) 「地域を元気にしたい」とひたむきに取り組む若者の姿は、幅広い世代の共感を呼びました。

「置賜発ー若者が元気なまちづくり交流フォーラム」を開催しました。様々な分野で活動している高校生・大学生・社会人が、「大勢いる元気な青年のチカラを地域づくりにもっと活かそう!」と、活動事例の発表や展示を行い、地域の皆さんと交流を深めました。来場された方からは「若者に無限の可能性を感じた」「私も地域社会の一員として支えたい」「私も地域の声をいただきました。山形には、みずみずしい発想と行動力で地域課題に取り組み若者がたくさんいます。県では今後も、若い人が存分にチャレンジし、力を発揮できる「元気な山形」づくりに取り組んでいきます。

問い合わせ 置賜総合支庁地域振興課 ☎0238-26-2230



若者が活躍する「元気な山形」を目指して

tokyo information

さる一月五日には、東京都中央卸売市場大田市場の初競りが開かれ、本県から恒例のハウスさくらんぼ「佐藤錦」が入荷し、一箱(五〇〇グラム)十万円の高値がつけました。消費環境が厳しさを増す中で、御祝儀相場とはいえ、景気をつける縁起物になることから、三月下旬から本格化する一般のハウス栽培ものの販売への効果が期待されています。

東京事務所で、首都圏の小売店や飲食店、東京都中央卸売市場における流通動向を日ごろから把握し、首都圏での県産農産物の市場分析を行っています。これらの分析結果は、インターネットなどを通じて、産地へ迅速に情報提供するとともに、県産品の首都圏での販路拡大のための大切な基礎資料として活用しています。



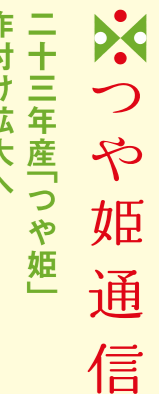
本県のさくらんぼと啓翁桜が飾られた東京都中央卸売市場大田市場の初競りの様子(平成23年1月5日)

問い合わせ 県東京事務所 東京都千代田区河町2-6-3 都道府県会館13階 ☎03-5212-9026



県産農産物の流通情報の収集と発信

東京都中央卸売市場で山形産さくらんぼ初競り



二十三年産「つや姫」作付け拡大へ

記録的な猛暑にも負けない優れた品質が高い評価を受け、好調なスタートを切った「つや姫」は、いよいよ二年目を迎えます。

平成二十三年産「つや姫」の作付面積については、二十二年産を七〇〇ha上回る三、二〇〇haに拡大され、販売数量は一六、〇〇tを計画しています。

三月八日(火)には、山形市のビッグウイングにおいて、平成二十三年産「つや姫」生産者認定証交付式が開催され、知事から各地区の生産者代表に、認定証の交付と種子の引渡しが行われます。

いよいよ、二十三年産米の作付けに向けた農作業もスタートします。徐々に県外での作付けの増加も見込まれる中、全国に「つや姫ブランド」が定着しますよう、皆さんの益々の温かい応援をよろしく願っています。



つや姫技術研修会の様子